



岡本 重明
みんなの党愛知

やまとひめのみこと

倭姫命伝説や歴史的文化を活用した観光ルートについて、市の認識は

他にはない文化・歴史を生かした特徴的な観光資源を有効に活用する



まちづくりについて

問 立地的条件や観光特色をどのように捉え、観光施策を立て、事業を実行しているのか。

答 本市は豊かな自然と景観を有し、全国トップクラスの農業産出額を誇っているため、地場産業と観光が連携しやすい環境が整っている。近年の代表的な事業としては、増加するサイクリストの受け入れ環境整備としてサイクルサポーター制度の導入、渥美半島菜の花まつりに来場する観光客の夜間観光への誘導など、滞在時間の延長を促す取り組みを実施してきた。さらに、たはら巡り～なを行い、観光交流人口の拡大を目指して魅力度向上に努めている。

問 観光産業が太平洋側及び西部地域の地場産業に与える影響を、どのように捉えているのか。

答 伊良湖温泉をはじめとする伊良湖地域の振興や、サーフタウン構想に基づく弥八島海浜公園土地開発事業などに積極的に取り組んでおり、特に雇用の創出や地場産業の振興にとって観光業も重要な産業の一つであると捉えている。

問 倭姫命伝説や歴史的文化を活用することで、唯一無二の魅力として伊勢志摩半島への観光ルートを構築できると捉えるが、市の認識は。

答 伊良湖から三重県鳥羽市までの海を渡る国道から伊勢神宮などへつながるルートは、他にはない本市の文化・歴史を生かした特徴的な観光資源であり、有効に活用することで交流人口の拡大や地域活性化につながるものと考えている。

問 観光地として訪れやすい交通網については劣っていると感じるが、本市の観光的魅力をどのように認識しているか。

答 体験型観光単独では宿泊客の増加にはつながりにくく、地域経済への波及効果は限定的となっているため、一時的な滞在から宿泊につなげ、観光消費額を増加させる取り組みが重要と考える。本市特有の様々な地域資源や、地域の方々の知恵を活用し、ここにしかない食や体験などの発掘、創出を図ることで、より魅力的な観光地になることができると認識している。

お知らせ information

令和4年第3回定例会（9月定例会）会期

8月30日（火）～9月27日（火）

日	月	火	水	木	金	土
8/28	29	30 本会議 (議案審議)	31	9/1 本会議 (一般質問)	2	3
4	5	6 文教厚生委員会 総務産業委員会	7	8 予算決算委員会 (補正予算)	9	10
11	12	13	14	15 予算決算委員会 (決算認定)	16	17
18	19 敬老の日	20	21	22 議会運営委員会	23 秋分の日	24
25	26	27 本会議 (採決等)	28	29	30	10/1

開会時刻は10時です。(9月6日の総務産業委員会は13時30分) ※日程および時間は、変更になる場合があります。
 □ マークの日に、一般質問の映像をケーブルテレビ・インターネットで中継していますので、ぜひご覧ください。
 本会議・委員会は、誰でも傍聴できます。(感染症対策をお願いします)